

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標

チーム川北として、子ども自身が成長を実感できるよう支えながら、大人も共に成長できる学校づくりを目指します。

- (1) 子どもたち一人ひとりが、安心して豊かな学校生活を送れるよう、「自尊感情」と「自己効力感」を大切にしながら豊かな心の育成に努めます。
- (2) 子どもの学力及び体力の向上を図るために、カリキュラムの運営・改善により、子どもの「学び」の質の向上に努めます。
- (3) 教職員の専門職としての力量を高め、進んで自己の能力開発に取り組むと共に、組織的な教育実践を継続していきます。
- (4) 子どもは「未来の宝」「地域の宝」であることの認識のもと、全職員が学校運営に主体的にかかわり、保護者や「まち」と連携、協力して「学びの共同体」としての学校づくりを目指します。

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野		取組目標	具体的取組
豊かな心		全職員で一人ひとりの子どもを見守り支援し、自他を大切にできる心情や態度と自己有用感を育みます。	①豊かな体験活動で培った子どもの問題意識を生かして道徳科の授業改善を進め、教職員の授業力の向上を目指す。全学級の道徳授業公開を年1回以上実施する。②幼保小、他の学年、地域などとの交流活動を充実させる。③自ら進んで挨拶する姿を認め、学年に応じた取組につなげていく。
担当	人権委員会 道徳部		

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

・本校の児童は、落ち着いて学習に向かい、物事に対して一生懸命取り組むことができる児童が多く最後までやり遂げてうれしかった経験も積んでいる。しかし、横浜市学力・学習状況調査の生活意識調査をみると、自分のよいところを見つけられない児童がいる。また、道徳的価値は知っているが実践できていないなどの課題も抱えている。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

指針1 「特別の教科道徳」の充実 ※道徳教育全体計画・別葉と連動

- ・「特別の教科道徳」を充実させる。
- ・日々の生活の中で児童同士のコミュニケーション能力を高め、お互いの良さを認め合い、自分の良さを感じ自尊感情をもてるようにする。
- ・児童の実態を把握し、一人ひとりにあった支援を行うために、児童支援の体制を整える。
- ・全学級の道徳授業公開を年一回以上実施する。
- ・道徳的価値について自ら考えるきっかけとなるよう「わたしたちの道徳」を積極的に活用する。

指針2 体験学習の充実

- ・係活動や委員会・クラブ活動、運動会実行委員会（SP）などで、自己の活動に責任をもって行動できる実践力や主体性・思いやりの心や協力する心を育てる。
- ・わくわく運動会や総合的な学習の時間、生活科の活動などの取組を中心に、児童の自主性・社会性・相互理解や連帯感を育み、自己肯定感を育てる。